

● まずは問題を解いてみてください。(解答時間:15分 目標)

問1 薬物動態に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 半減期が3日の薬物の血中濃度が1/8になるには6日かかる。
- ② 猫は肝臓においてアセチル化抱合能がない。
- ③ 初回通過効果の影響を受けるのは、筋肉内投与である。
- ④ 胆汁中に排泄された薬剤が腸管から吸収され再び肝臓に戻ることを腸肝循環という。
- ⑤ 経口投与は静脈内投与に比べて速やかに血中濃度が上昇する。

問2 胎児期に存在する特殊な循環系として存在しないのはどれか。

- ① 臍静脈
- ② 卵円孔
- ③ 動脈管
- ④ 静脈管
- ⑤ 膀胱円索

問3 感染症法により1類感染症に指定されている感染症はどれか。

- ① 重症熱性血小板減少症(SFTS)
- ② オウム病
- ③ エボラ出血熱
- ④ 猫ひっかき病
- ⑤ レプトスピラ症

問4 非ステロイド性解熱鎮痛剤として使用する薬剤の組合せとして正しいのはどれか。

- a デキサメタゾン
- b メロキシカム
- c フィロコキシブ
- d プレドニゾロン
- e モルヒネ

- ① a, b ② b, c ③ c, d ④ d, e ⑤ a, e

問5 動物において股関節を形成する骨の組合せとして正しいのはどれか。

- ① 上腕骨, 肩甲骨
- ② 脛骨, 大腿骨, 腓骨
- ③ 寛骨, 大腿骨
- ④ 環椎, 軸椎
- ⑤ 基節骨, 中節骨, 末節骨

問6 腎臓において水の再吸収促進に関与するホルモンとして正しいのはどれか。

- ① バソプレシン
- ② パラソルモン
- ③ インスリン
- ④ コルチゾール
- ⑤ エリスロポエチン

問7 次の循環障害のうち、末梢組織への動脈血の供給増加により起こる病変はどれか。

- ① 出血
- ② うっ血
- ③ 水腫
- ④ 充血
- ⑤ 虚血

問8 飼育動物の生活環境における「5つの自由」の概念にあてはまる対応として誤っているのはどれか。

- ① 首輪やリードを付けずに飼育すること
- ② 怪我をしたら治療を受けさせること
- ③ 精神的な苦痛を取り除くこと
- ④ 清潔な場所で飼育すること
- ⑤ 習性に合った行動がとれるように工夫すること

問9 0.5mg/50mlに調整された薬剤を、体重8kgの犬に5 μ g/kg/hで持続投与する場合の投与速度として正しいのはどれか。

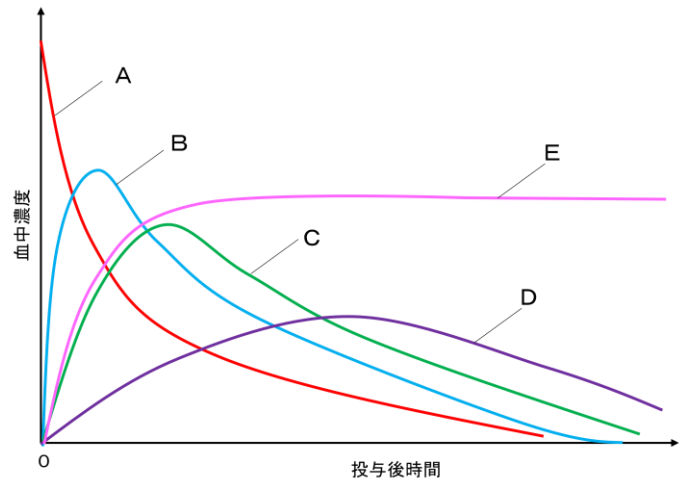
- ① 0.4ml/h
- ② 0.8ml/h
- ③ 2.0ml/h
- ④ 4.0ml/h
- ⑤ 8.0ml/h

問10 胃液中のペプシンが分解するのはどれか。

- ① 脂肪
- ② 炭水化物
- ③ タンパク質
- ④ ビタミン
- ⑤ ミネラル

問1 薬物動態に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 半減期が3日の薬物の血中濃度が1/8になるには6日かかる。
- ② 猫は肝臓においてアセチル化抱合能がない。
- ③ 初回通過効果の影響を受けるのは、筋肉内投与である。
- ④ 胆汁中に排泄された薬剤が腸管から吸収され再び肝臓に戻ることを腸肝循環という。
- ⑤ 経口投与は静脈内投与に比べて速やかに血中濃度が上昇する。



問2 胎児期に存在する特殊な循環系として存在しないのはどれか。

- ① 臍静脈
- ② 卵円孔
- ③ 動脈管
- ④ 静脈管
- ⑤ 膀胱円索

問3 感染症法により1類感染症に指定されている感染症はどれか。

- ① 重症熱性血小板減少症 (SFTS)
- ② オウム病
- ③ エボラ出血熱
- ④ 猫ひっかき病
- ⑤ レプトスピラ症

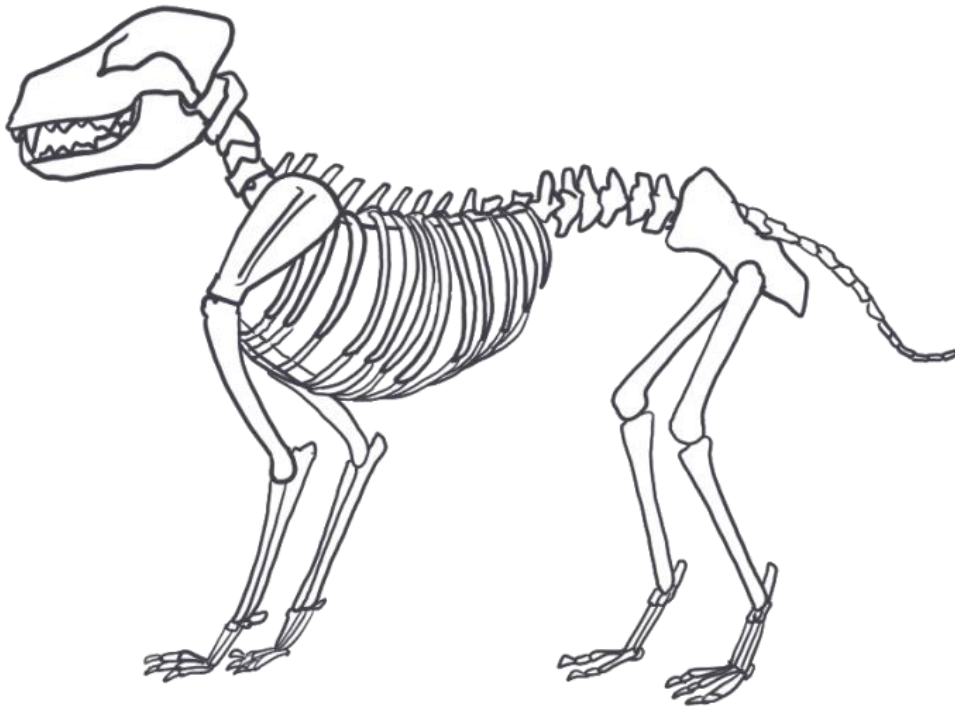
問4 非ステロイド性解熱鎮痛剤として使用する薬剤の組合せとして正しいのはどれか。

- a デキサメタゾン
- b メロキシカム
- c フィロコキシブ
- d プレドニゾロン
- e モルヒネ

- ① a, b ② b, c ③ c, d ④ d, e ⑤ a, e

問5 動物において股関節を形成する骨の組合せとして正しいのはどれか。

- ① 上腕骨, 肩甲骨
- ② 脛骨, 大腿骨, 腓骨
- ③ 寛骨, 大腿骨
- ④ 環椎, 軸椎
- ⑤ 基節骨, 中節骨, 末節骨



問6 腎臓において水の再吸収促進に関与するホルモンとして正しいのはどれか。

- ① バソプレシン
- ② パラソルモン
- ③ インスリン
- ④ コルチゾール
- ⑤ エリスロポエチン

問7 次の循環障害のうち、末梢組織への動脈血の供給増加により起こる病変はどれか。

- ① 出血
- ② うっ血
- ③ 水腫
- ④ 充血
- ⑤ 虚血

問8 飼育動物の生活環境における「5つの自由」の概念にあてはまる対応として誤っているのはどれか。

- ① 首輪やリードを付けずに飼育すること
- ② 怪我をしたら治療を受けさせること
- ③ 精神的な苦痛を取り除くこと
- ④ 清潔な場所で飼育すること
- ⑤ 習性に合った行動がとれるように工夫すること

問9 0.5mg/50mlに調整された薬剤を、体重8kgの犬に5 μ g/kg/hで持続投与する場合の投与速度として正しいのはどれか。

- ① 0.4ml/h
- ② 0.8ml/h
- ③ 2.0ml/h
- ④ 4.0ml/h
- ⑤ 8.0ml/h

問10 胃液中のペプシンが分解するのはどれか。

- ① 脂肪
- ② 炭水化物
- ③ タンパク質
- ④ ビタミン
- ⑤ ミネラル